



B5T 500

1/12 SUPER SCALE ELECTRIC 2WD RACING CAR KIT

この度はヨコモ製R/Cカーキットをお買い求め頂き、誠に有り難うございます。このキットは、ワールドチャンピオン メーカーであるヨコモの高性能・競技用R/Cカーです。
本説明書に従った正しい組立・安全な走行をして頂ければ、誰でも手軽に楽しむことができます。

Thank you for purchasing this Yokomo product. This high performance competition kit has been proudly manufactured by Yokomo - World Champion R/C car manufacturer.
Proper assembly of this product will provide fun, safe enjoyment.

R/C カーを安全に楽しんで頂くための 注意事項

お子様(中学生以下)が 組立・走行する際は、必ず保護者の方が付き添い 安全を確認して下さい。

組立の注意

- 幼児のいる場所では組み立てないで下さい。小さな部品を飲み込む等、非常に危険です。
- 組立の前に必ず内容をお確かめ下さい。万一不良部品、不足部品などがあった場合は、ヨコモ アフターサービス部までお問い合わせ下さい。
- 組立の前に説明書を最後まで読み、全体の流れをつかむと効率的な組立が出来ます。
- 組み立てる際は、様々な工具が必要になります。安全の為に必ず作業内容に合った工具を使用して下さい。又、カッターナイフ等を使用する際は危険を伴いますので、注意して下さい。
- 部品には様々な素材を使用しています。切削加工された金属パーツ等はエッジが鋭く、慎重な組立が必要となります。ケガをしないように注意して下さい。
- プラスチックパーツなどを切断する際は、切断した部品が飛び危険があるので注意して下さい。
- 回転部や駆動部は出来るだけスムーズに動作するように組み立てて下さい。
- 配線やコード類はきれいにまとめて下さい。回転部分や走行路面にコードが接触すると危険です。又、配線は確実に接続されていないとショートなどの恐れや、性能を十分に発揮出来ない場合があります。
- 必要以上の分解、改造をすると、安全性が低下したり走行性能が十分に発揮出来なくなる場合があります。
- 塗装は、周囲に火気の無いことを確認し、換気の良い場所で行って下さい。

走行の注意

- ヨコモ製R/Cカーは競技用の為、時速40kmを超える速いスピードが出るモデルもあります。ルールを守って安全な場所や、R/Cカー用サーキットで走らせて下さい。
- 公道等、周囲の人の迷惑になるような場所では絶対に走らせないで下さい。
- R/Cカーは電波を利用する為、何らかのトラブルで最悪の場合は暴走する事があります。狭い場所や室内は避け、出来るだけ広い、障害物のない場所で走らせて下さい。
- 周囲にR/Cカーを走らせている人がいる場合は、電波が重ならないように、周波数を確認し合って、安全を確かめて下さい。
- R/Cカーは水を嫌います。雨の日や、水たまりのある場所で走らせると、R/Cメカが壊れたり、暴走する危険があります。
- R/Cカーの駆動部分、ギヤやベルト、タイヤなどは高回転で回ります。バッテリーを接続した後は危険ですので、回転部分に手を触れないで下さい。
- 走行後のR/Cカーは各部が高温になる事があります。危険ですので冷却期間をおいてから、メンテナンスなどをして下さい。

走らせる手順

- ①タイヤが空転するように、台の上にR/Cカーを置きます。
- ②スピードコントローラのスイッチがOFFになっている事を確認してから、モーターとバッテリーを接続します。
- ③送信機のアンテナを伸ばし、スイッチをONにします。(送信機の電圧が下がっていると危険です。常に電圧の高い状態で使用して下さい。)
- ④受信機のスイッチをONにします。

走行終了手順

- ①スピードコントローラのスイッチをOFFにします。
- ②バッテリーの接続を外します。
- ③送信機のスイッチをOFFにし、アンテナを縮めます。

バッテリーの取り扱い

(バッテリーに付属の説明書に基づき使用して下さい。)

- バッテリーを充電する際は、周囲に燃えやすい物のない安全な場所で行って下さい。又、高温な場所での充電も避けて下さい。
- バッテリーの充電中は充電状況を常に確認して下さい。充電器の誤動作などで過充電すると、最悪の場合は発火する危険性があります。バッテリー温度が50度を越えたら充電を中止して下さい。
- 走行後のバッテリーは高い温度になります。連続使用するとバッテリーを傷める事になりますので、冷却期間を置いてから充電して下さい。又、走行後のバッテリーはコンディション放電する事によって、性能を持続させる事が出来ます。
- 不要になったバッテリーは一般のゴミと一緒に捨てず、お手数でも電池専用の回収箱に捨てて下さい。

モーターの取り扱い

(モーターに付属の説明書に基づき使用して下さい。)

- 7.2Vのバッテリーでモーターのから回しをすると危険です。モーター内部を破損し部品が飛び出す事も考えられますので、もしモーターのブレークインをする時は、モーターをしっかり固定し3~5V程度でから回して下さい。
- モーターは定期的なメンテナンスが必要です。劣化するとスピードが出なくなったり、走行時間が短くなります。定期的にクリーニングしたり、ブラシが減ってきたら交換する等のメンテナンスをして下さい。
- モーターの性能に合ったギヤ比を選択して下さい。ギヤ比が最適でないとモーターの性能を十分に発揮出来ないだけでなく、他のR/Cメカを壊す原因にもなります。
- 走行後のモーターは非常に高い温度になります。連続走行するとモーターを傷める事になりますので、冷却期間を置いてから走行して下さい。

PRECAUTIONS FOR SAFE ENJOYMENT OF YOUR R/C CAR

For children under the age of 13, parental guidance is recommended when running.

ASSEMBLY PRECAUTIONS

- Do not assemble around small children. The parts can be dangerous if accidentally swallowed.
- Check the contents carefully before assembly. Please contact Customer Support if you happen to notice any defective or missing items.
- You will find the assembly process much easier by carefully reading through the manual, and familiarizing yourself with the instructions.
- Many different tools are required during assembly. For safety purposes, please use suitable tools. Exercise extra caution when using a sharp tool such as a hobby knife.
- Many different materials are used for the parts. Use extra care when handling parts with sharp edges, such as machined metal parts.
- When cutting plastic parts, watch for any flying parts.
- Try to assemble any rotating parts or drivetrain parts as smooth as possible.
- Bundle wires neatly away from the ground or any moving drivetrain components. Make sure that all wires are properly connected to prevent shorting.
- Unnecessary modifications may be unsafe and hinder performance.
- Always paint in a well ventilated area away from flames.

PRECAUTIONS BEFORE RUNNING

- Yokomo R/C cars are built for competition use, and some models may exceed speeds of 40km per hour. Practice common sense and run the car in open safe places, or R/C car tracks.
- Do not run the car on public roads with high amounts of traffic, or in areas that may cause an inconvenience to people in that area.
- R/C cars are controlled using a radio frequency. In a worst-case scenario, radio interferences may cause loss of control.
- If others near you are running R/C cars, confirm that they are not running on the same frequency.
- R/C cars do not like water. Avoid running on rainy days, or areas with water puddles. Exposure of the electronics to water may cause loss of control or damage to the electronics.
- The drivetrain of an R/C car consists of many moving parts like gears, belts, shafts, and tires. Avoid touching these areas when the battery is connected.
- Many parts of an R/C car will become hot after running. Allow the parts to sufficiently cool before conducting any maintenance.

BEGINNING A RUN

- ①Place the R/C car on a stand so the wheels are off the ground.
- ②Confirm that the speed controller switch is OFF, and connect the motor and battery.
- ③Extend the transmitter antenna and turn the switch ON. (It is unsafe to use a transmitter with low voltage. Make sure that the transmitter batteries are good before running.)
- ④Turn the speed controller switch ON.

FINISHING A RUN

- ①Turn the speed controller switch OFF.
- ②Disconnect the battery.
- ③Turn the transmitter switch OFF, and retract the antenna.

BATTERY USAGE

(Carefully read the instruction included with the batteries.)

- When charging batteries, make sure that the surrounding area is void of anything highly flammable. Also avoid charging in high-temperature locations.
- When charging batteries, frequently monitor the charging it catch on fire. If the battery reaches 50 degrees Celcius or more, stop charging.
- Batteries will become hot after running. Continuous use of the battery pack may result in damage to the cells. Allow the battery too cool down before re-charging. Using a battery conditioner after running may prolong the life and performance of the battery.
- Please do not discard old battery packs in the trash. Although inconvenient, please locate a battery disposal center.

MOTOR USAGE

(Carefully read the instruction included with the motor.)

- Connecting a 7.2V battery directly to the motor can be very dangerous. This may cause the internal parts of the motor to break apart, causing some parts to fly out of the motor. To break-in the motor, safely secure the motor and run the motor at about 3-5V.
- Motors require periodic maintenance. Slower speeds and decreased run times may indicate a worn-out motor. Periodically clean the motor and change the brushes when needed.
- Choose a gear ratio that matches the power characteristics of the motor. Using a gear ratio unsuited to the characteristics of the motor will not only prevent the motor from performing at its optimum, but may even cause damage to the other electronics.
- Motors will generally become very hot after running. Continuous running will reduce the life of the motor. Allow the motor to sufficiently cool between each run.

【組み立てに必要な物】

ACCESSORIES AND TOOLS NEEDED FOR [GT500] ASSEMBLY

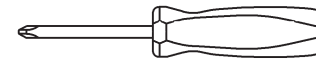
■ 走行の為に別にお買い求め頂く物 ■

ADDITIONAL ITEMS REQUIRED FOR USE (NOT INCLUDED IN KIT)

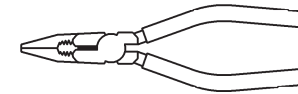
- 2チャンネルプロポ（1サーボ 1アンプ仕様）
**TWO CHANNEL R/C SURFACE RADIO SYSTEM
AND ELECTRONIC SPEED CONTROL**
- 走行用バッテリーパック
BATTERY PACK
- 走行用バッテリー充電器
BATTERY CHARGER
- ボディー塗装用カラー
BODY SPRAY PAINT
- 瞬間接着剤
Quick Drying Glue

■ 別途用意する工具 ■

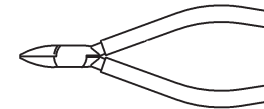
ASSEMBLING TOOLS REQUIRED (NOT INCLUDED IN KIT)



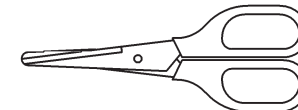
ドライバー（大,小）
SCREW DRIVER (SMALL & LARGE)



ラジオペンチ
NEEDLE NOSE PLIERS



ニッパー
SIDE CUTTER



ハサミ
SCISSORS



カッター
HOBBY KNIFE

■ キットに入っている工具 ■

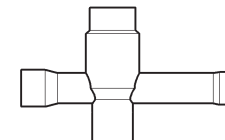
TOOLS (INCLUDED)



六角レンチ
ALLEN WRENCH
(1.5 & 2.0 & 3.0 mm)



ターンバックルレンチ
TURNBUCLE WRENCH

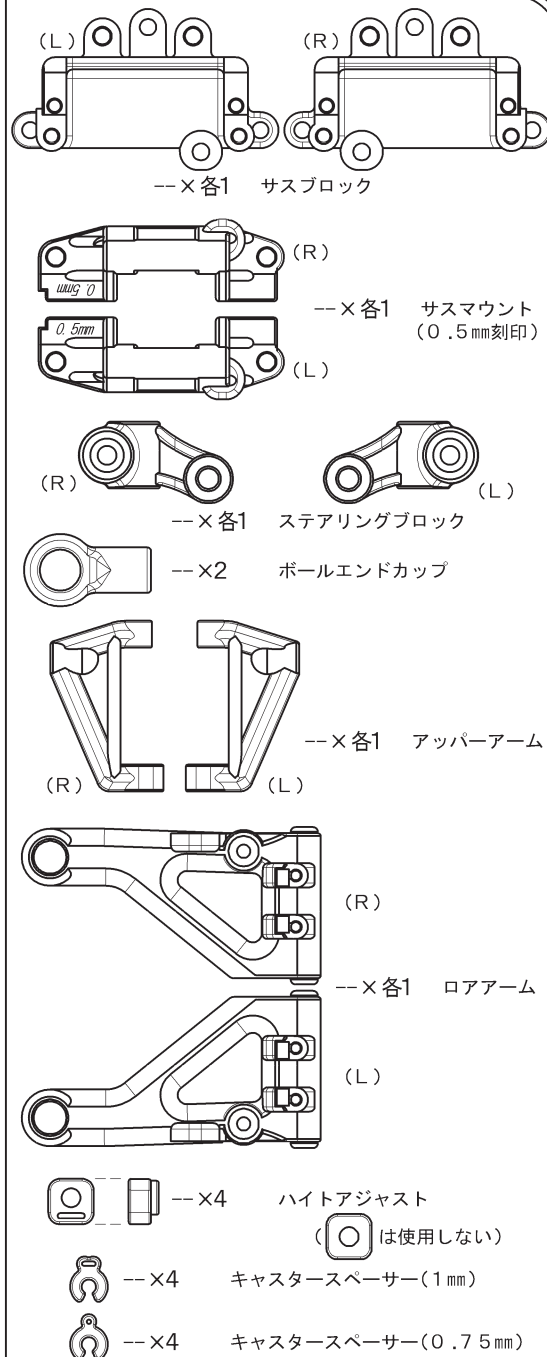
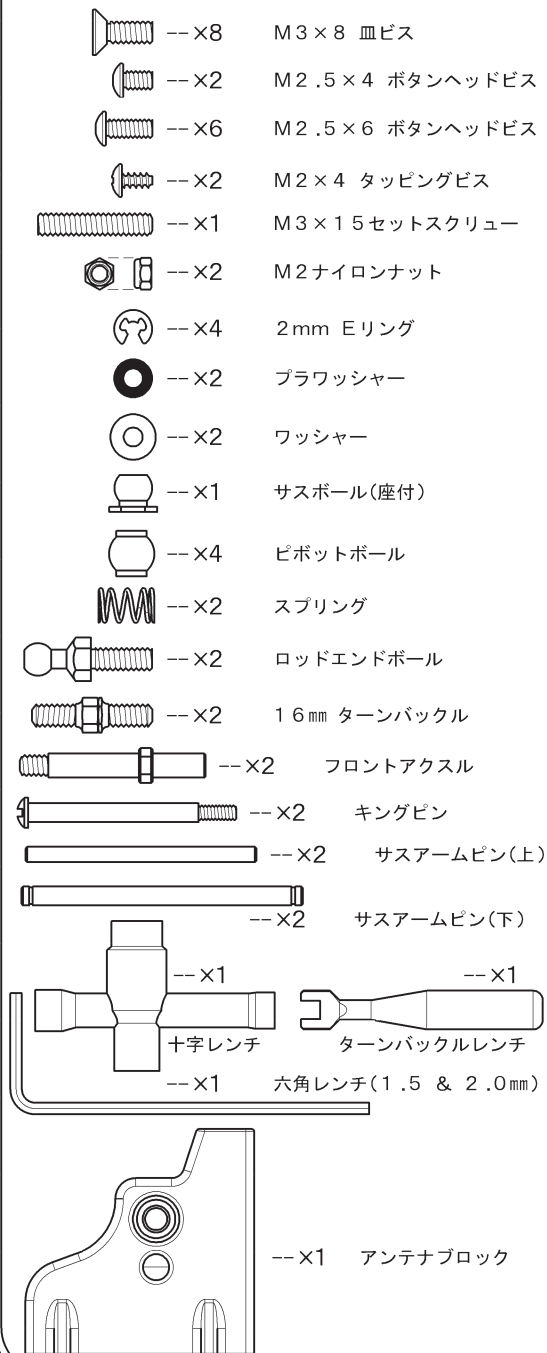


十字レンチ
NUT WRENCH

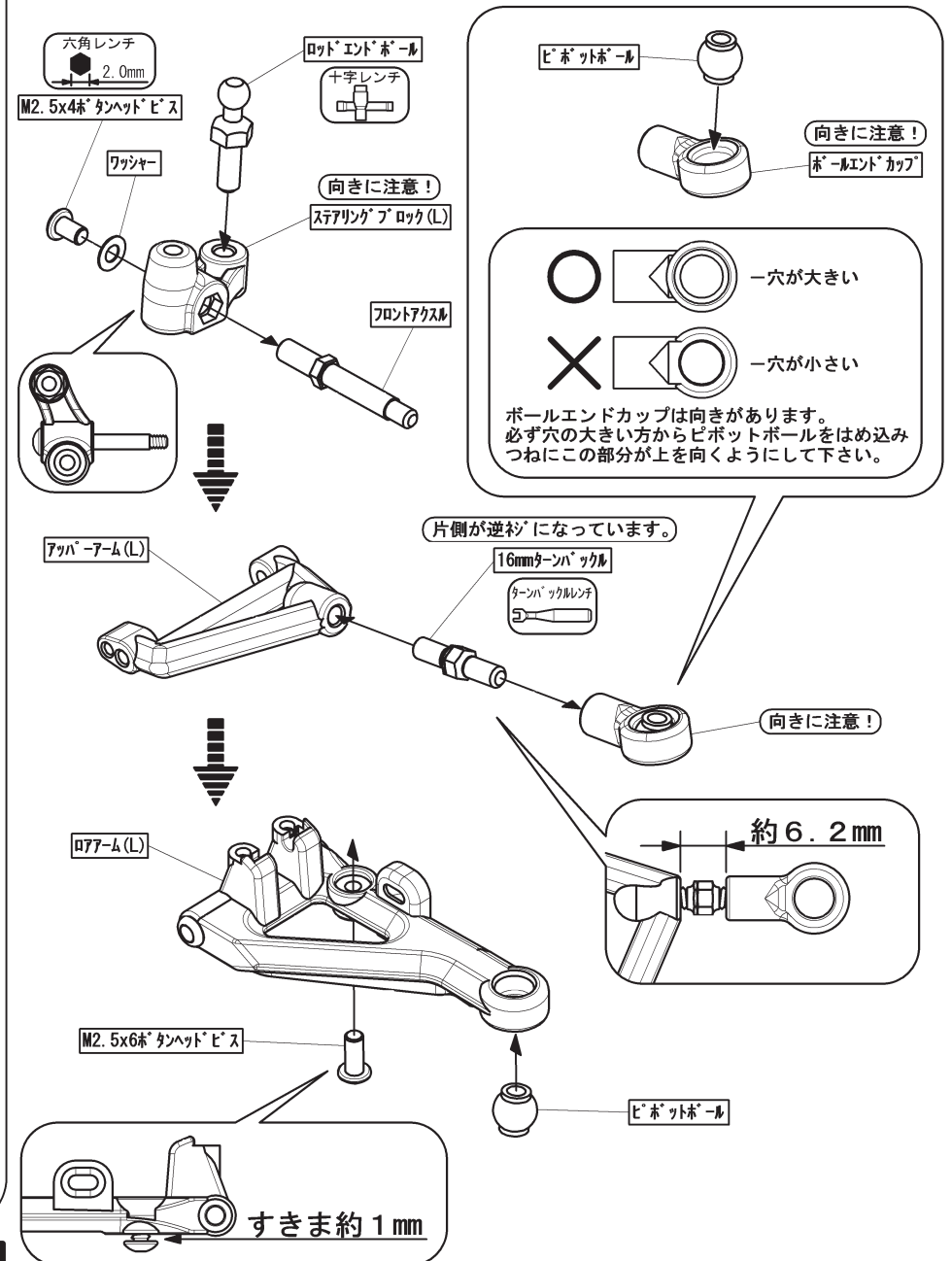
[GT500]の性能を十分に発揮させる為にイラストを良く参照し説明の順番に従って確実に組み上げて下さい。

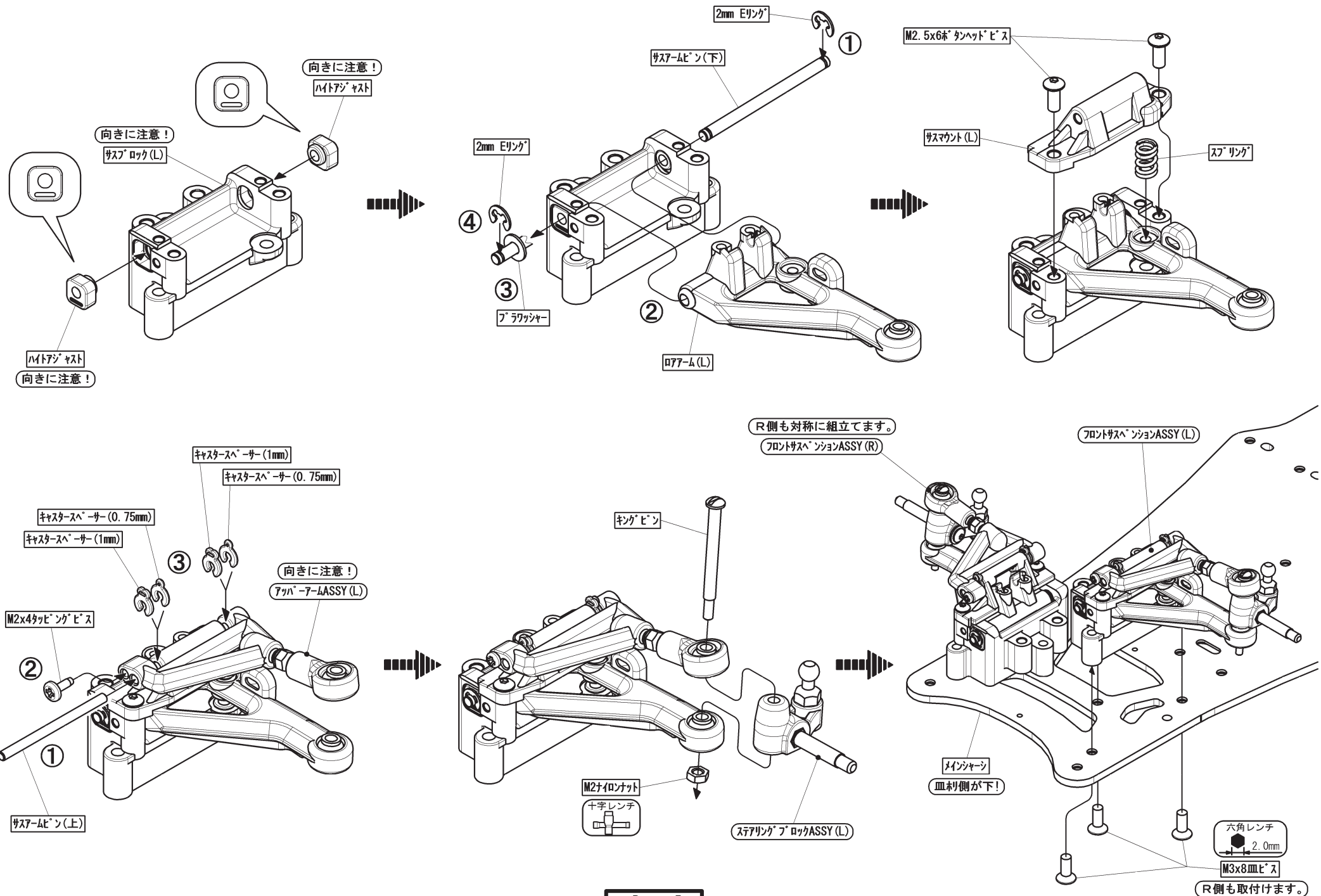
For assembly, follow the figures and the instructions closely so that your [GT500] will perform at its best!!

【 袋① の内容 】

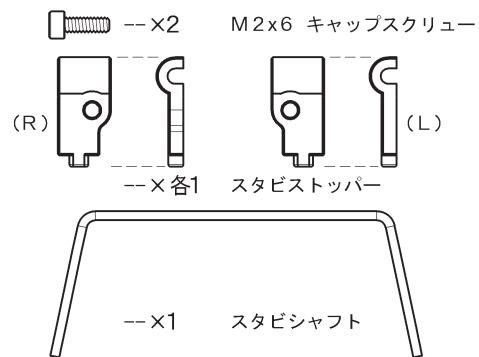


イラストは左側(L)を示していますが
対象に右側(R)も組立て下さい。

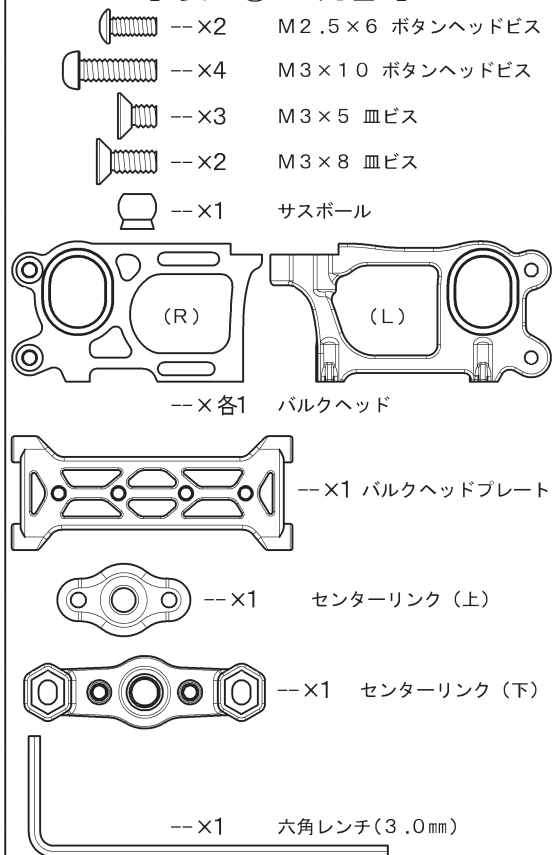




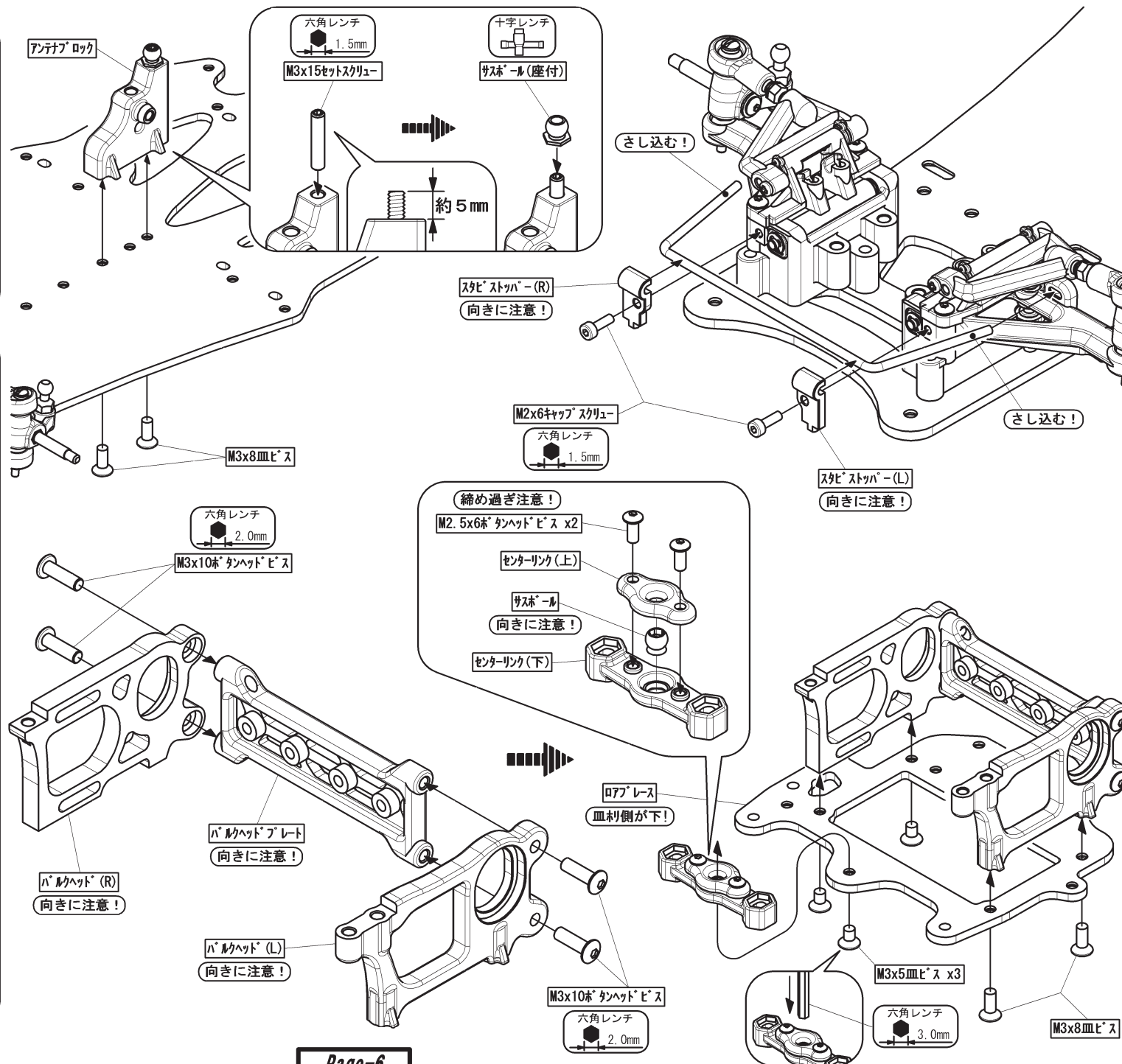
【袋②の内容】



【袋③の内容】

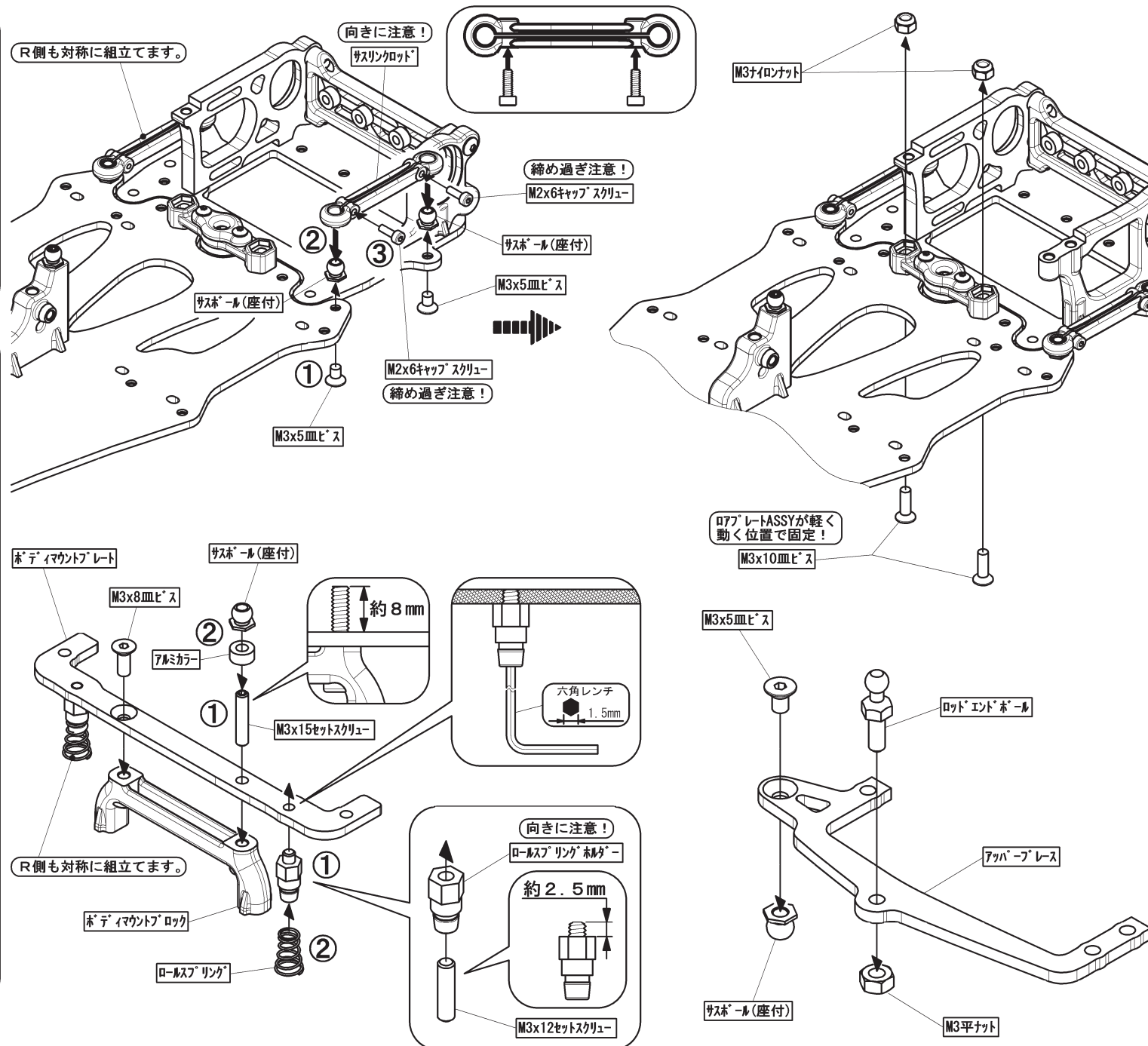


その他、ロアブレース 1ヶ

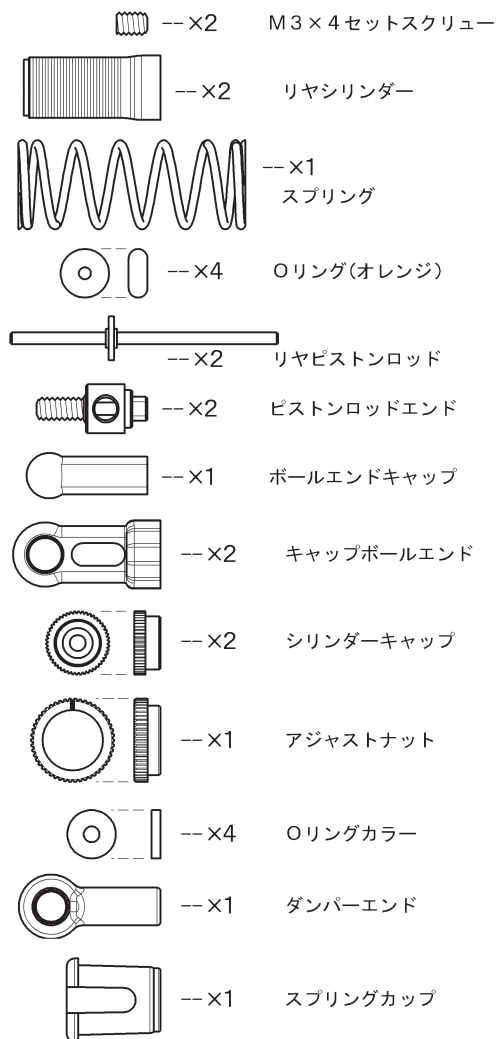


	--×4	M3×5 皿ビス
	--×2	M3×10 皿ビス
	--×4	M2×6 キャップスクリュー
	--×2	M3ナイロンナット
	--×4	サスポール(座付)
	--×2	サスリンクロッド

	--×1	M3×5 皿ビス
	--×1	M3×8 皿ビス
	--×2	M3×12 セットスクリュー
	--×1	M3×15 セットスクリュー
	--×1	M3 平ナット
	--×1	ロッドエンドボール
	--×2	サスボール(座付)
	--×1	アルミカラー
	--×2	ロールスプリングホルダー
	--×2	ロールスプリング
	--×1	ボディマウントブロック
その他、ボディマウントプレート 1ヶ アッパーブレース 1ヶ		

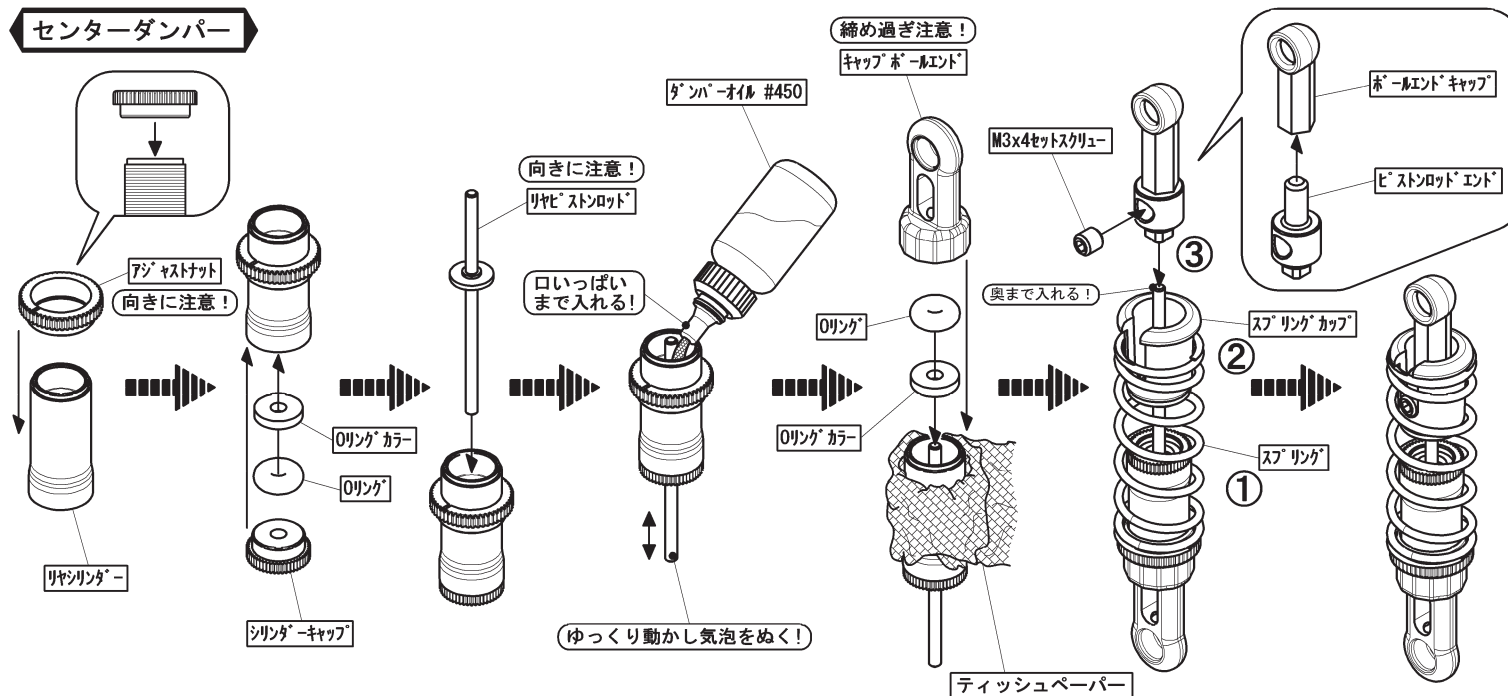


【 袋⑥ の内容 】

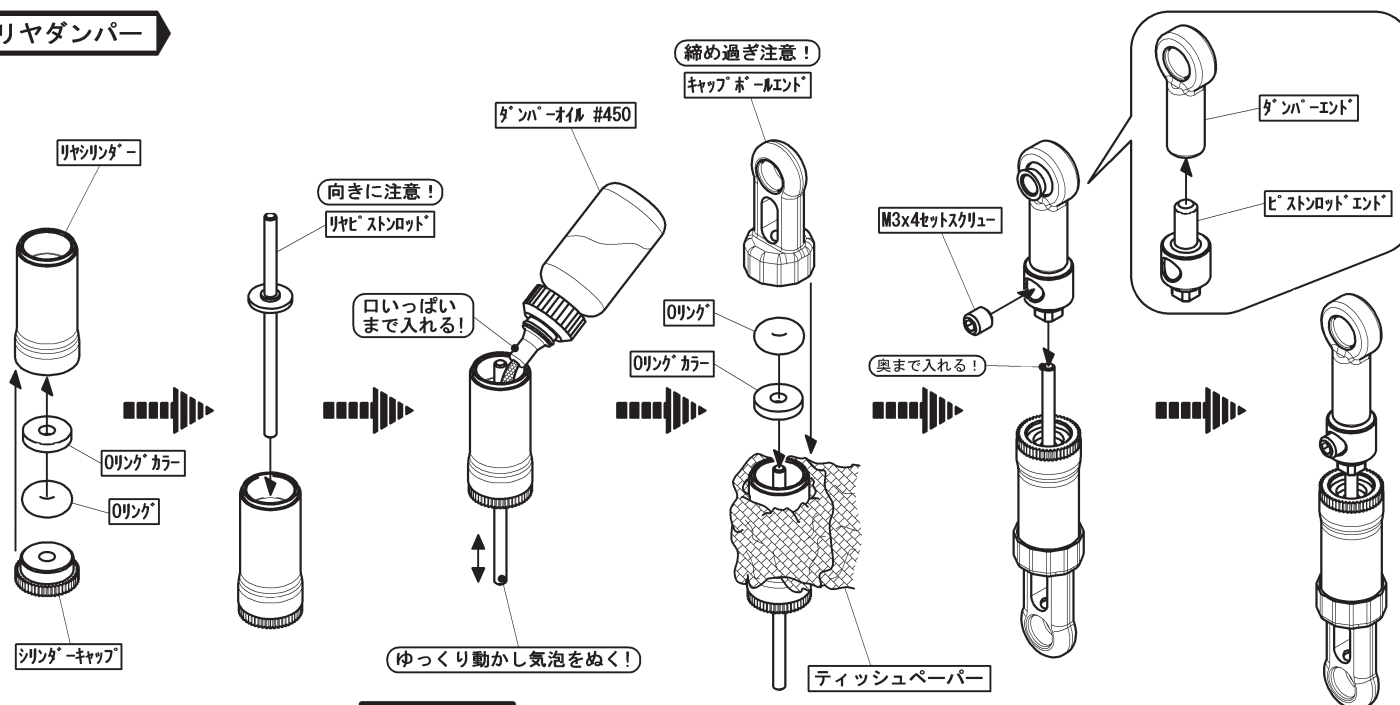


その他、ダンパーオイル (#450) 1ヶ

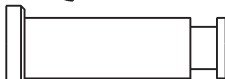
センターダンパー

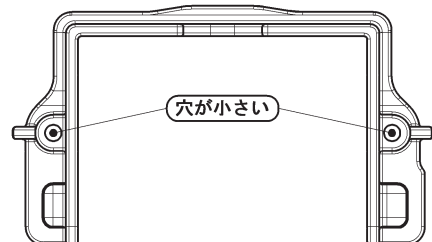


リヤダンパー

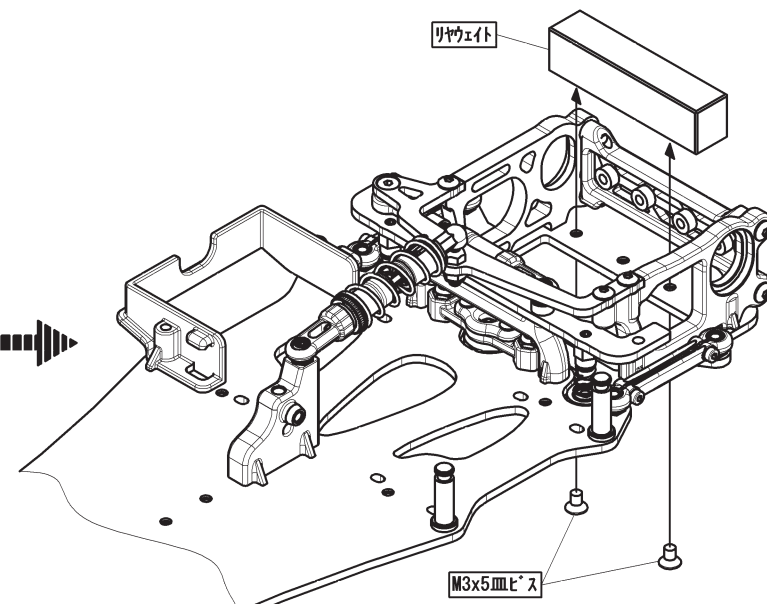
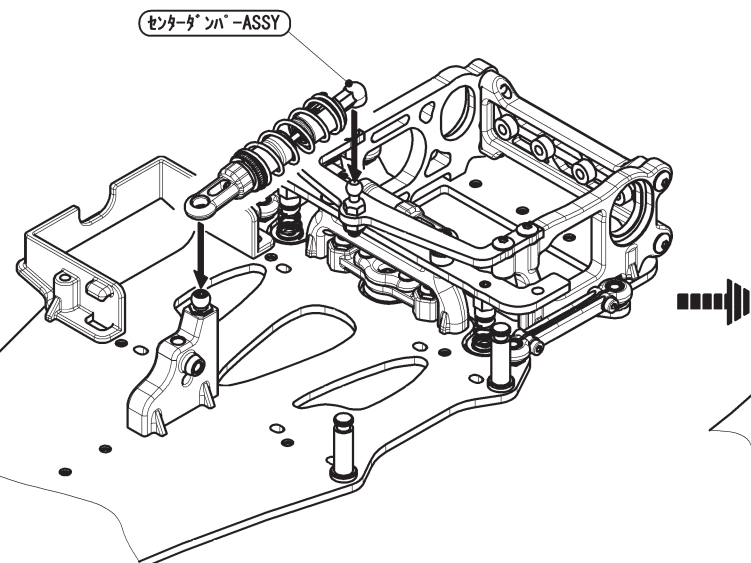
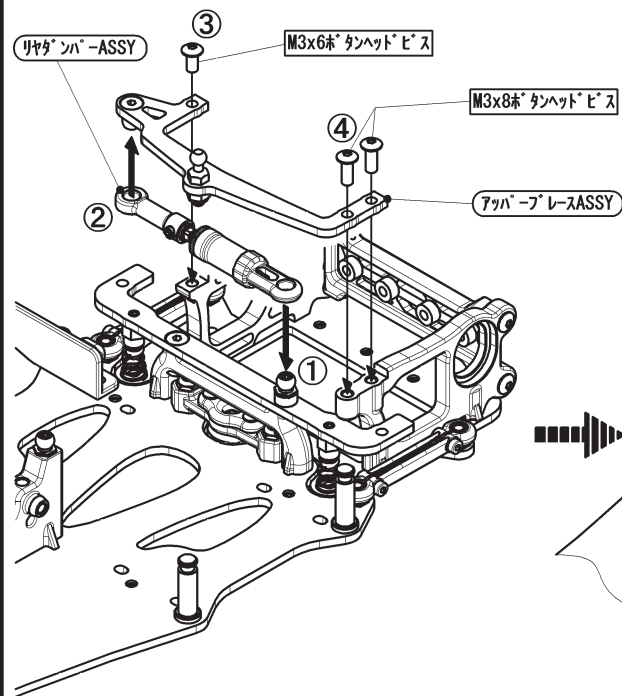
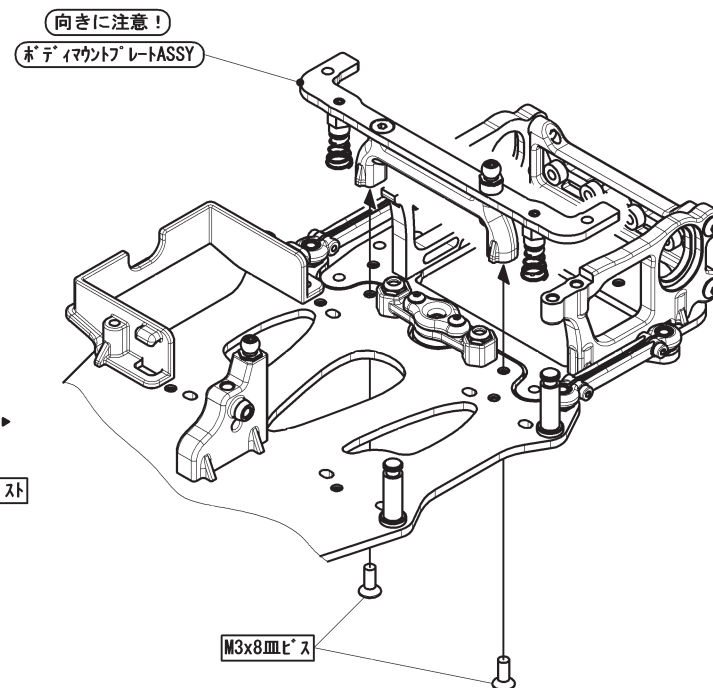
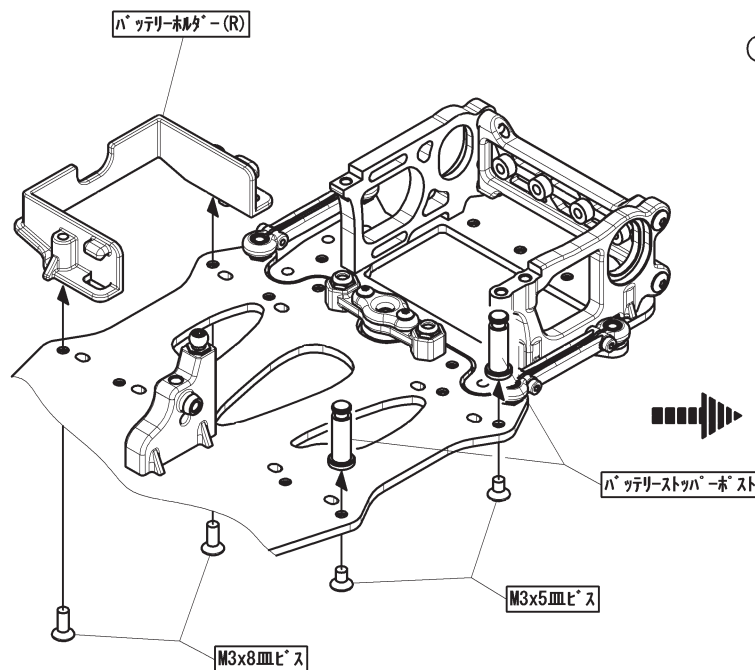


【 袋-⑦ の内容 】

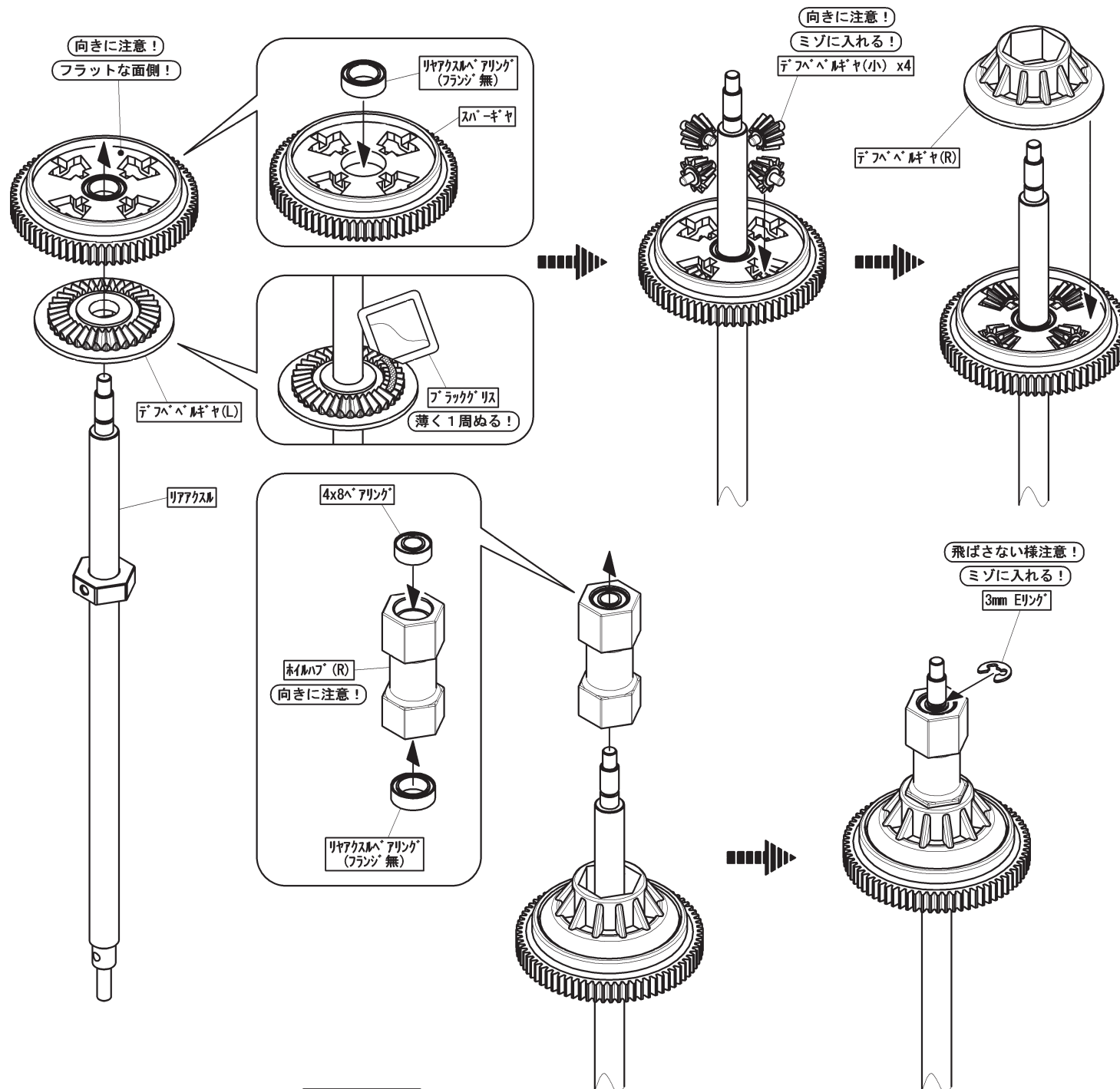
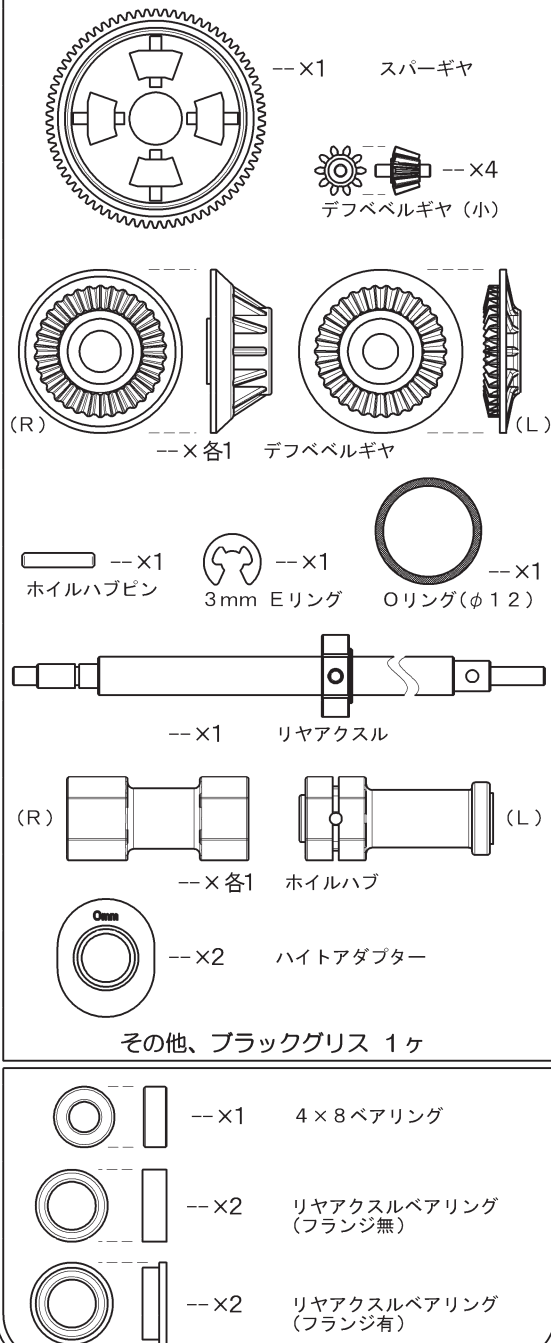
-  --×4 M3×5 皿ビス
-  --×4 M3×8 皿ビス
-  --×1 M3×6 ボタンヘッドビス
-  --×2 M3×8 ボタンヘッドビス
-  --×2 バッテリーストッパーポスト

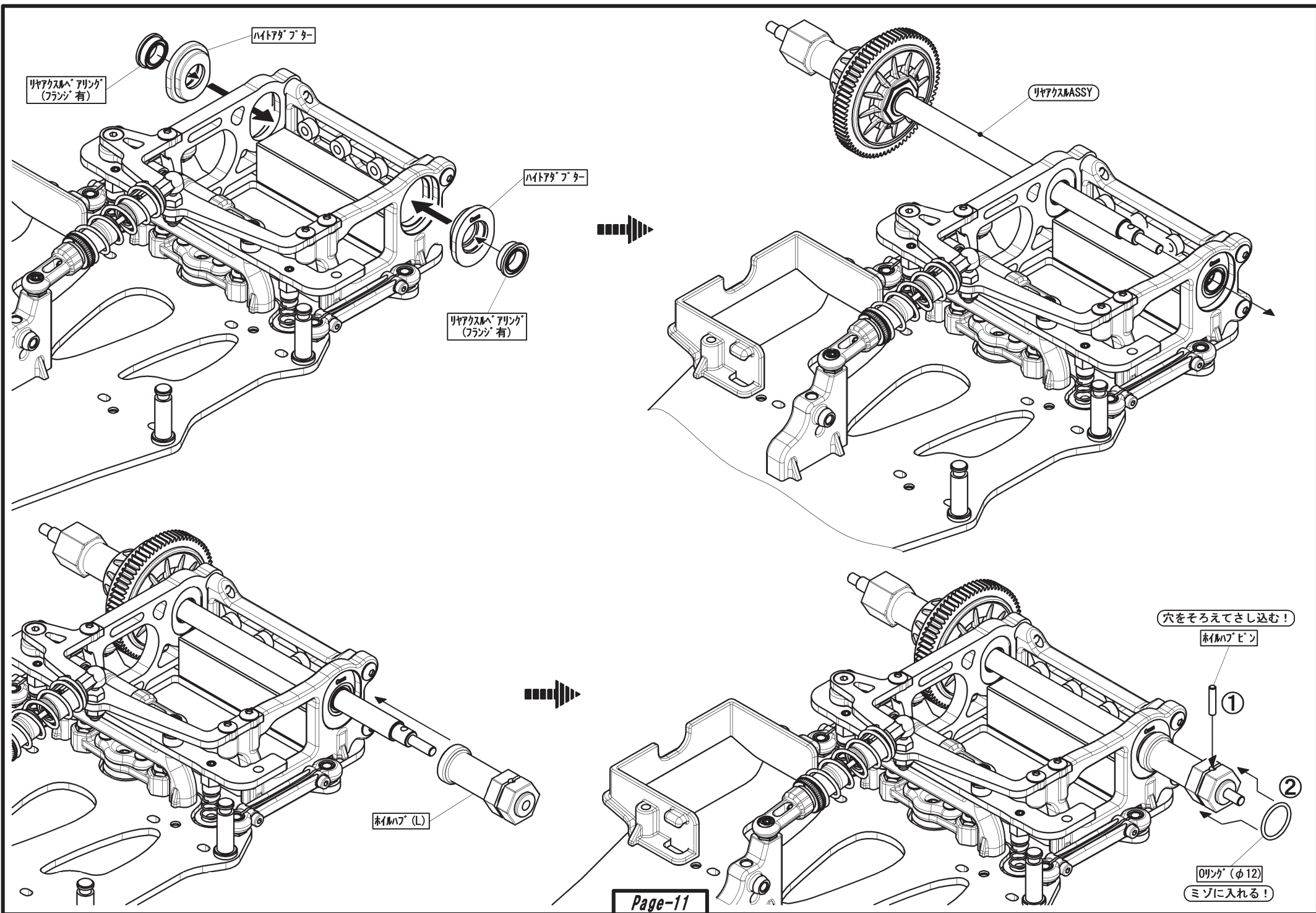


--×1 バッテリーホルダー(R)

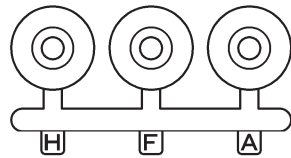
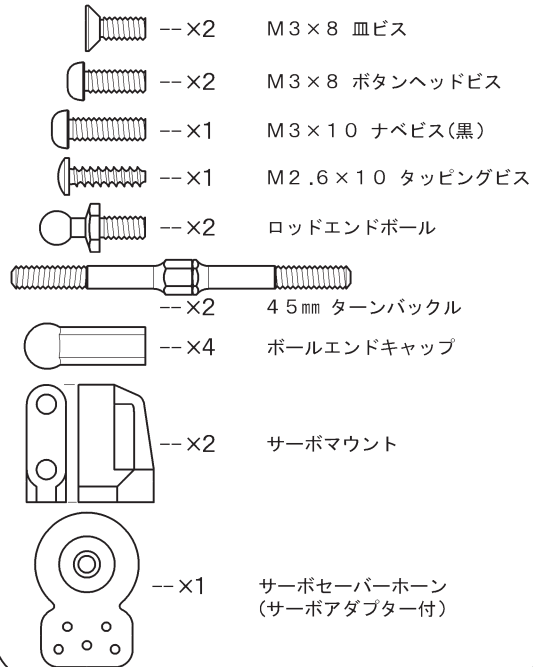


【 袋-⑧ の内容 】



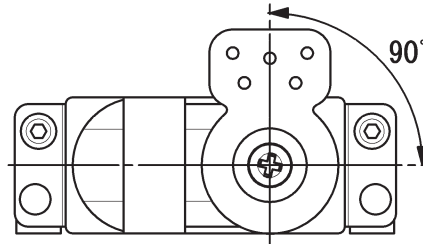


【袋⑨の内容】



刻印	メーカー
H	ハイテック
F	フタバ
A	J R, K O, サンワ

付属の(サーボアダプター)には刻印が入っています。
ご使用になるメーカーに合わせて選び下さい。



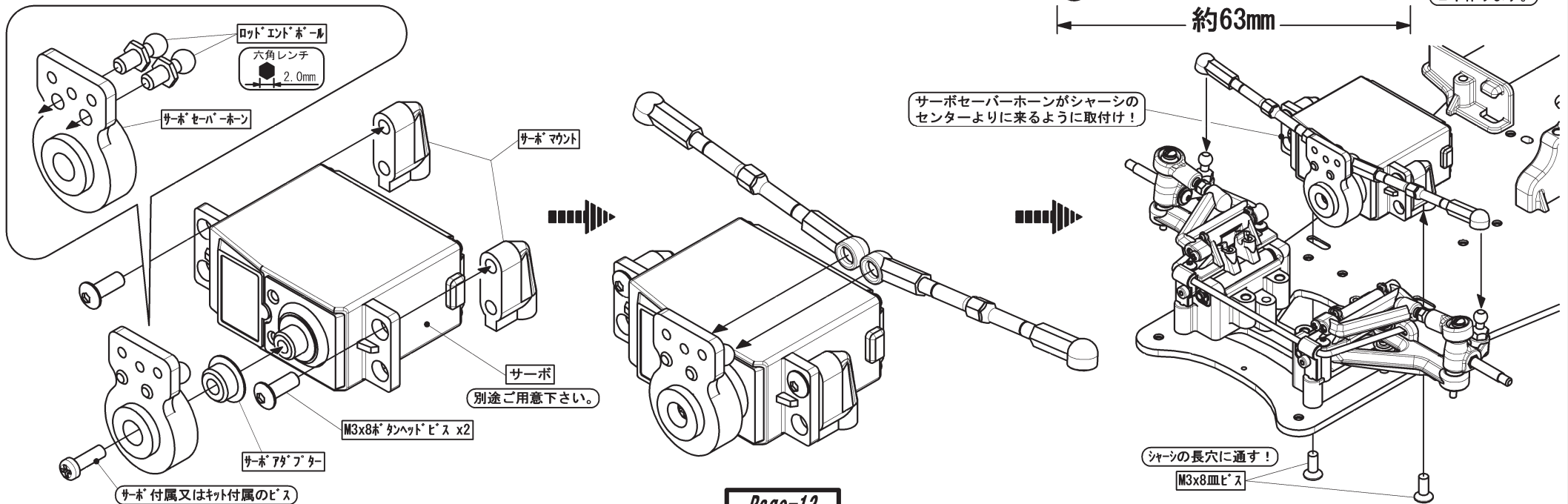
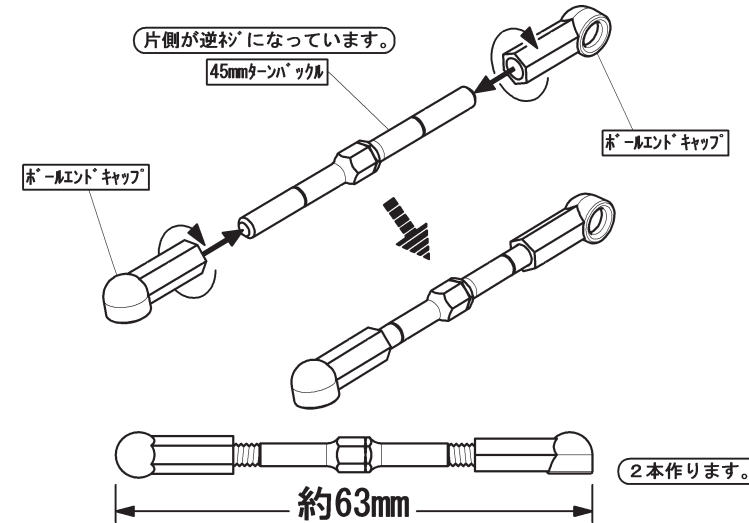
サーボのニュートラルを出した後、イラストのように
サーボホーンを取付けて下さい。

注意！

①サーボホーンを固定するビスは、使用するサーボに付属
されているネジ部と同タイプのビスを使用して下さい。
(本キット付属のビスは、トランスM2.6x10タッピングビス、
M3x10ナベビス(黒)の2種類です。)

②(サーボセーバーホーン)を取付ける前に必ず、
サーボのニュートラルを出して下さい。
(詳しくはプロポセットの説明書をご覧ください。)

③キット付属の(サーボアダプター)は3種類用意されて
います。必ずご使用になるサーボ(メーカー)に合った
アダプターをお使い下さい。
(形が合わないアダプターを使うとサーボに無理な
力が掛かり、故障の原因になります。)



【袋⑩の内容】

---x2 M2.6x5 皿ビス

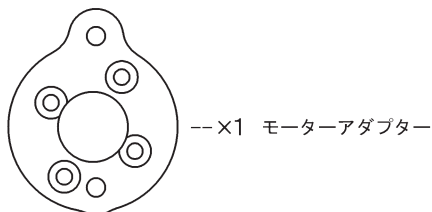
---x1 M3x8 皿ビス

---x2 M3x8 ボタンヘッドビス

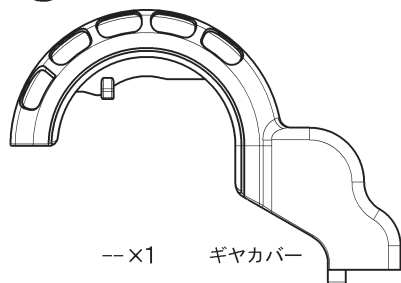
---x2 ワッシャー（黒）

---x1 M3x3 セットスクリュー

---x1 17T ピニオンギヤ



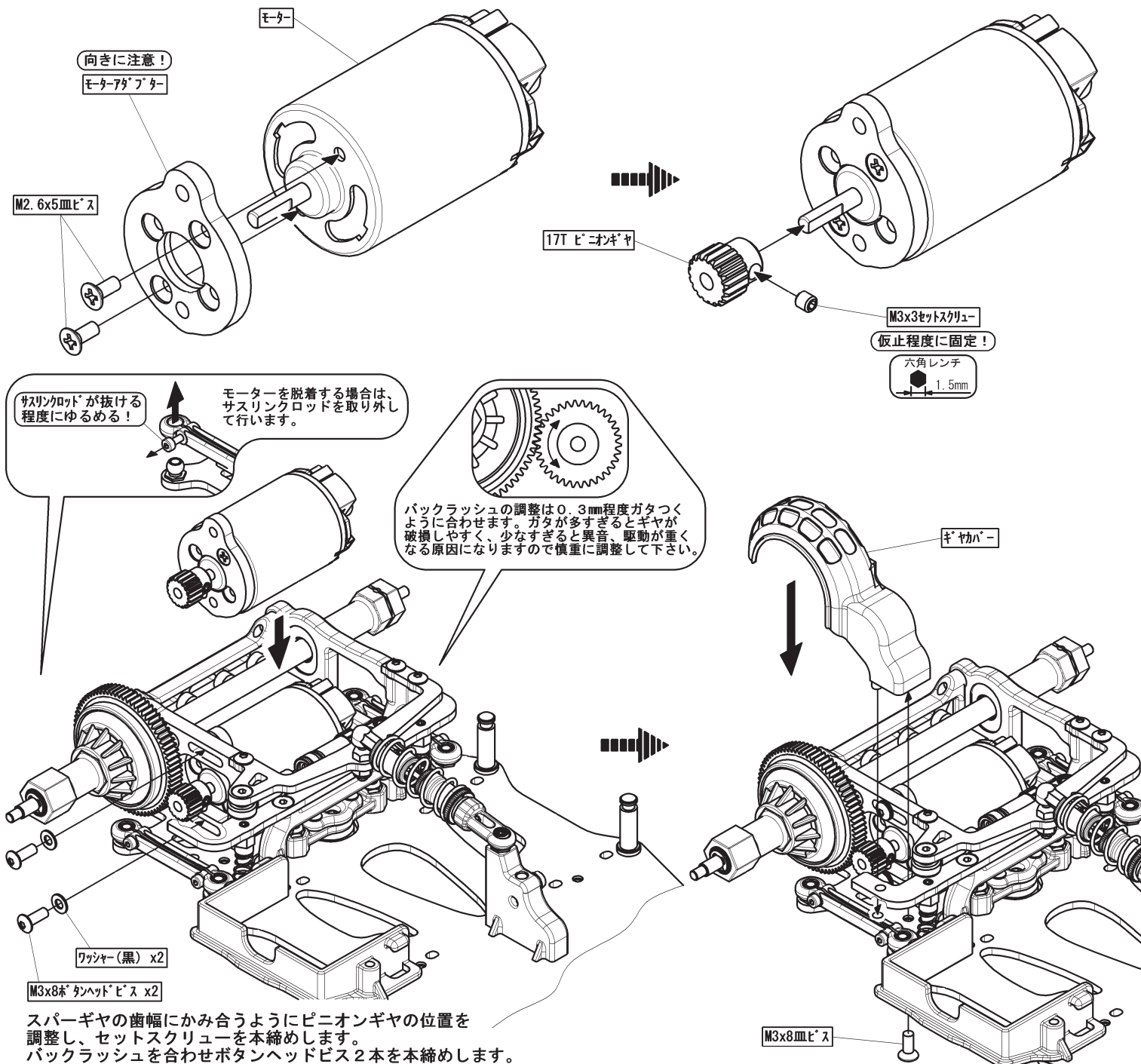
---x1 モーターアダプター



---x1 ギヤカバー

注意！

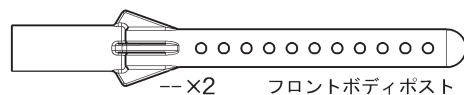
- ①ピニオンの取付けは、モーターシャフトの”Dカット”されている部分に、セットスクリューが当たる様、しっかりと締め込んで下さい。
- ②バックラッシュは少し隙間が出来る程度に調整して下さい。
（調整不足は、ノイズ及びギヤ破損の原因になります。）
- ③連続走行はモーターに必要以上の負荷を掛けるだけでなく寿命も短くなりますので、完全に冷えた事を確認してから走行をさせて下さい。
- ④リヤホイールが付いていない状態でモーターは回転させないで下さい。ホイールハブピンが飛び出す場合があります大変危険です。



カバーがズれる場合はビスを5°ほど戻して下さい。

【 袋-⑪ の内容 】

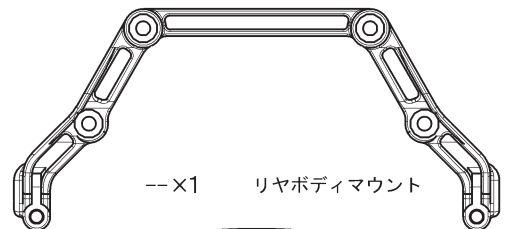
-  --x2 M3×10 皿ビス
-  --x4 M3×10 ボタンヘッドビス



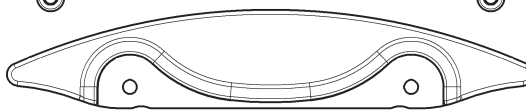
--x2 フロントボディポスト



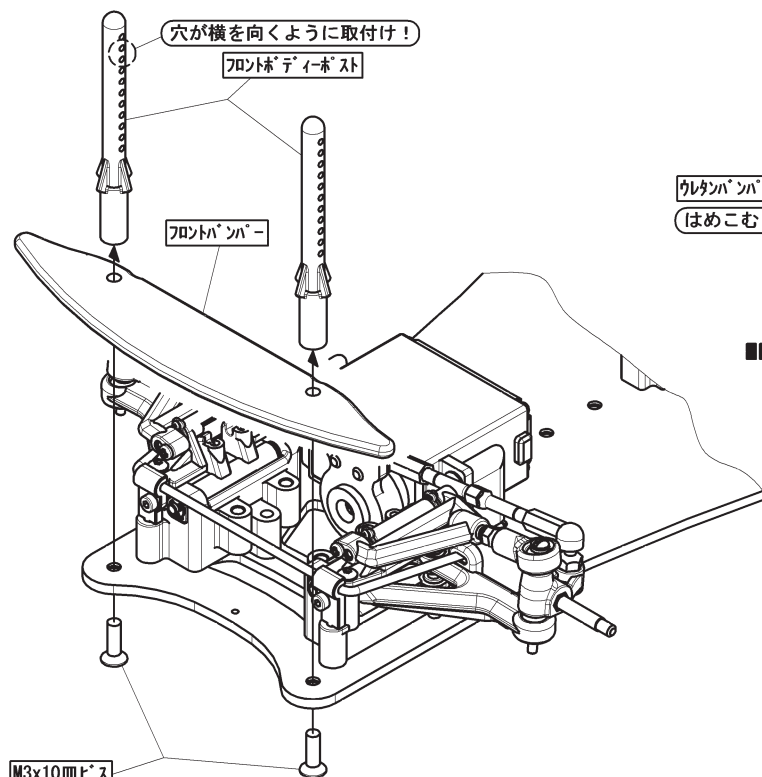
--x2 リヤボディポスト



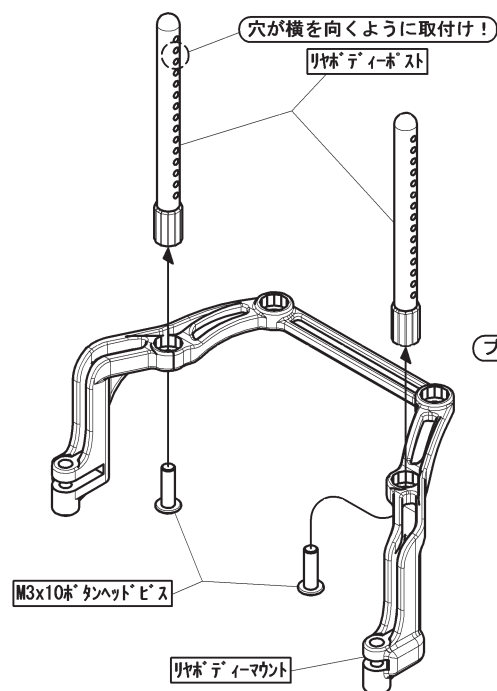
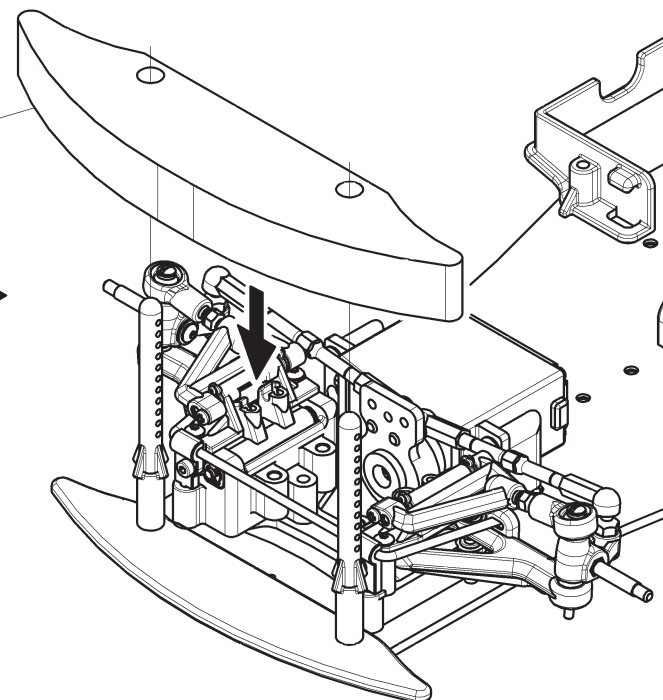
--x1 リヤボディマウント



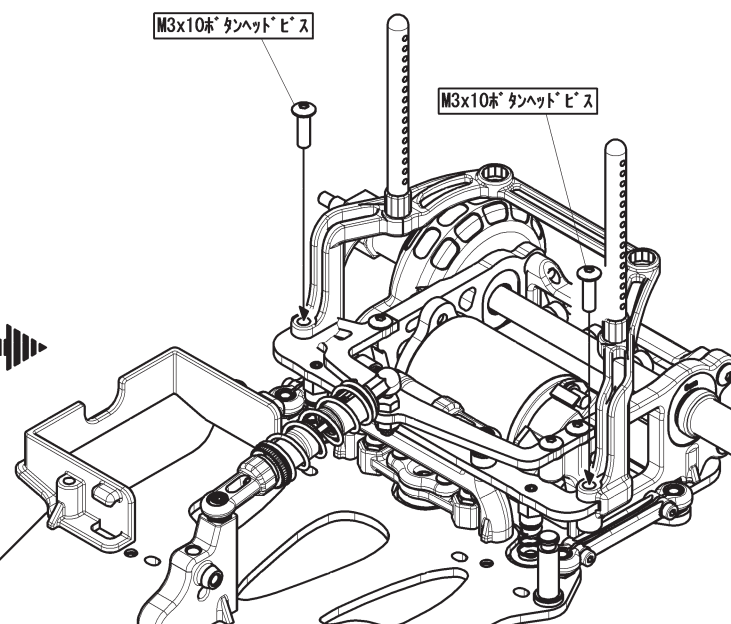
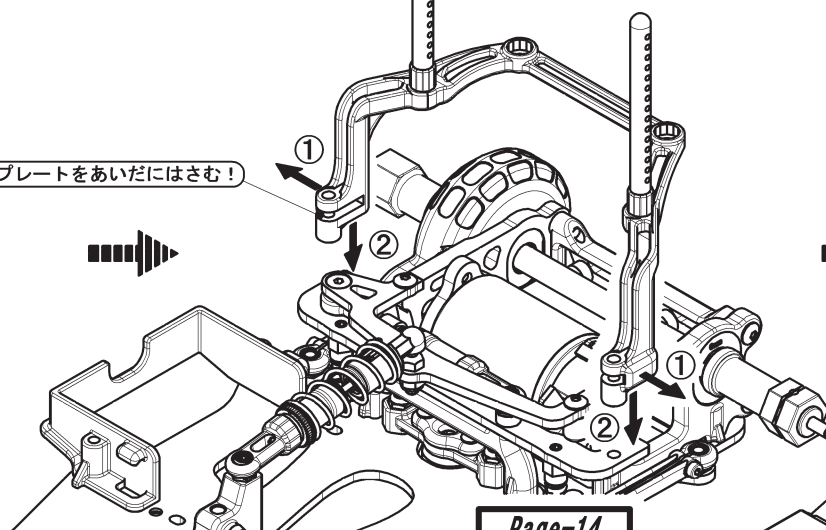
--x1 フロントバンパー



ウレタンバンパー
はめこむ！

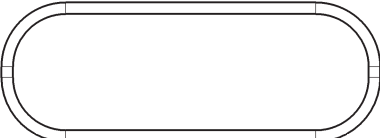


プレートをあいだにはさむ！



【 袋-12 の内容 】

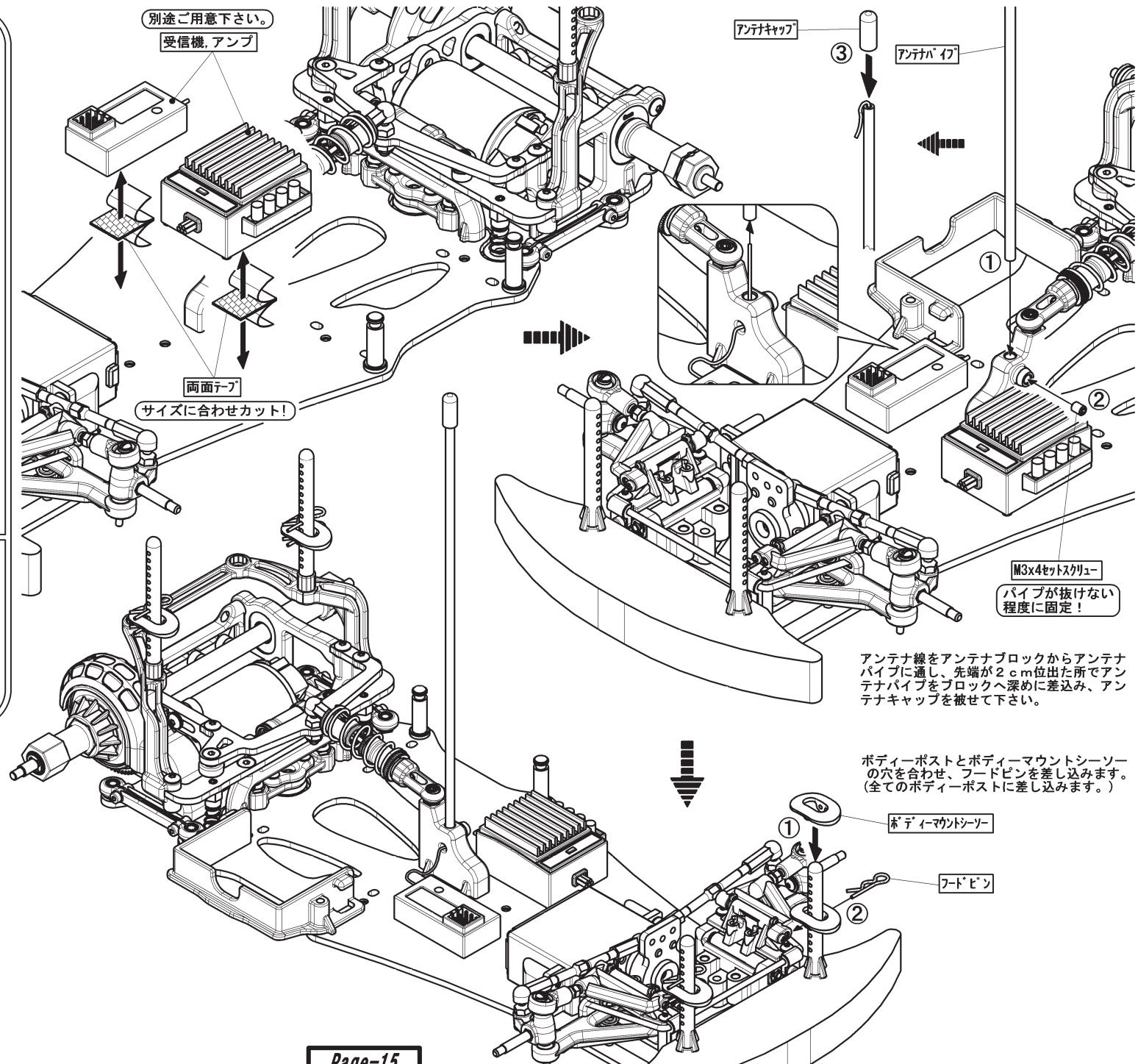
-  --x1 M3x4セットスクリュー
-  --x4 M3ナイロンナット
-  --x4 ブラウッシャー
-  --x8 フードピン
-  --x1 アンテナキャップ
-  --x4 ボディーマウントシーソー

-  --x2 バッテリーホルダーリング
- その他、両面テープ 1ヶ
- ナイロンストラップ 2ヶ

-  --x4 フロントアクスルベアリング
-  --x2 スラストワッシャー
-  --x1 スラストボール

注意！

- ①受信機、アンプの固定は付属の両面テープを使用しシャーシにしっかりと固定して下さい。
(接着面をクリーナーなどで脱脂しておくとはがれにくくなります。)
- ②余ったアンテナ線は稼動部分に触れない様にナイロンストラップで束ねて下さい。
- ③ボディーマウントシーソーは、ボディーの高さに合わせ、調整して下さい。

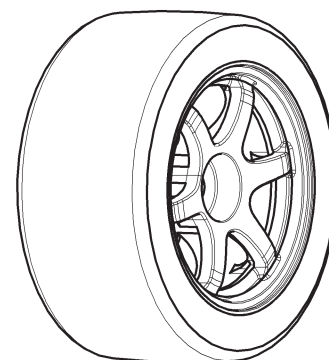
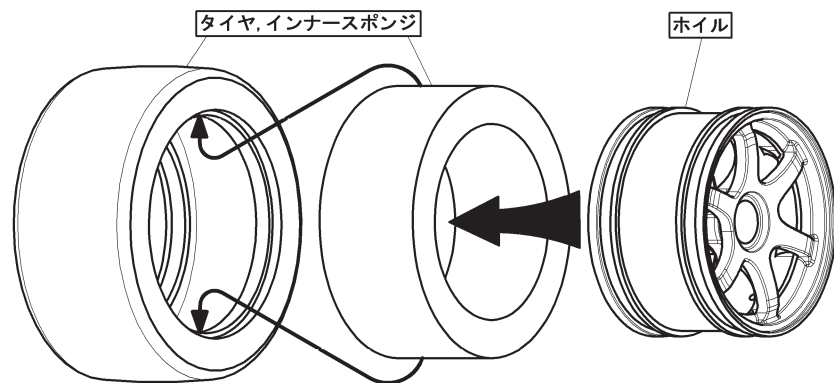


〔タイヤの組立て方〕

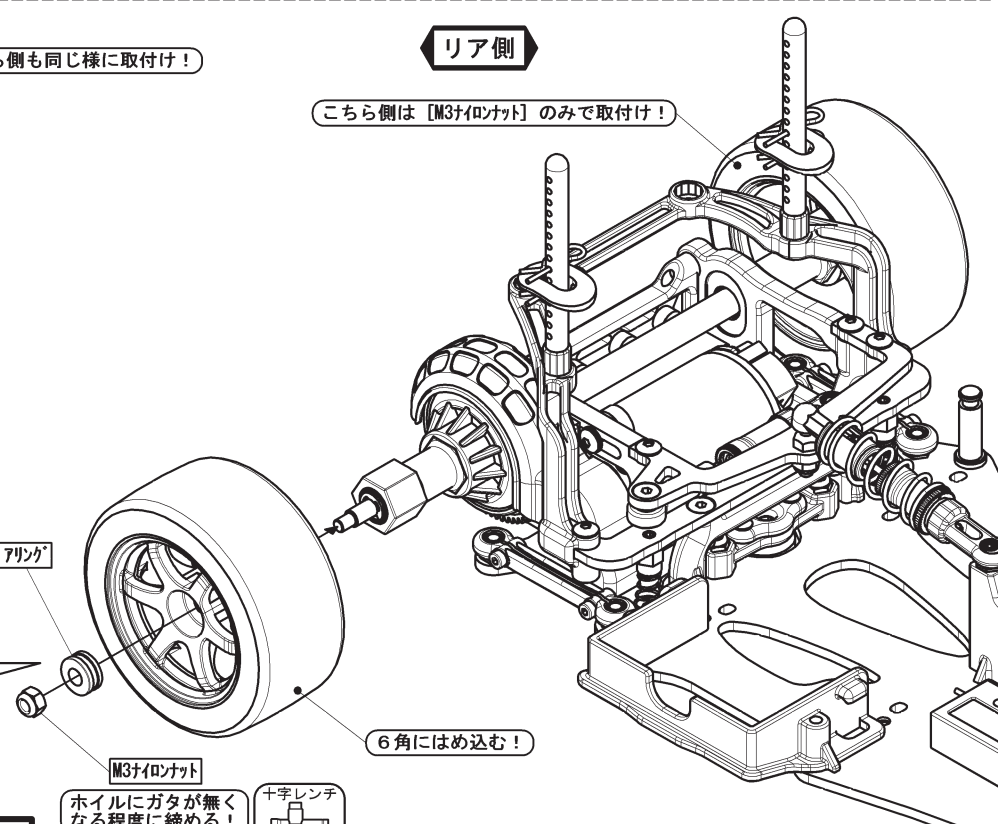
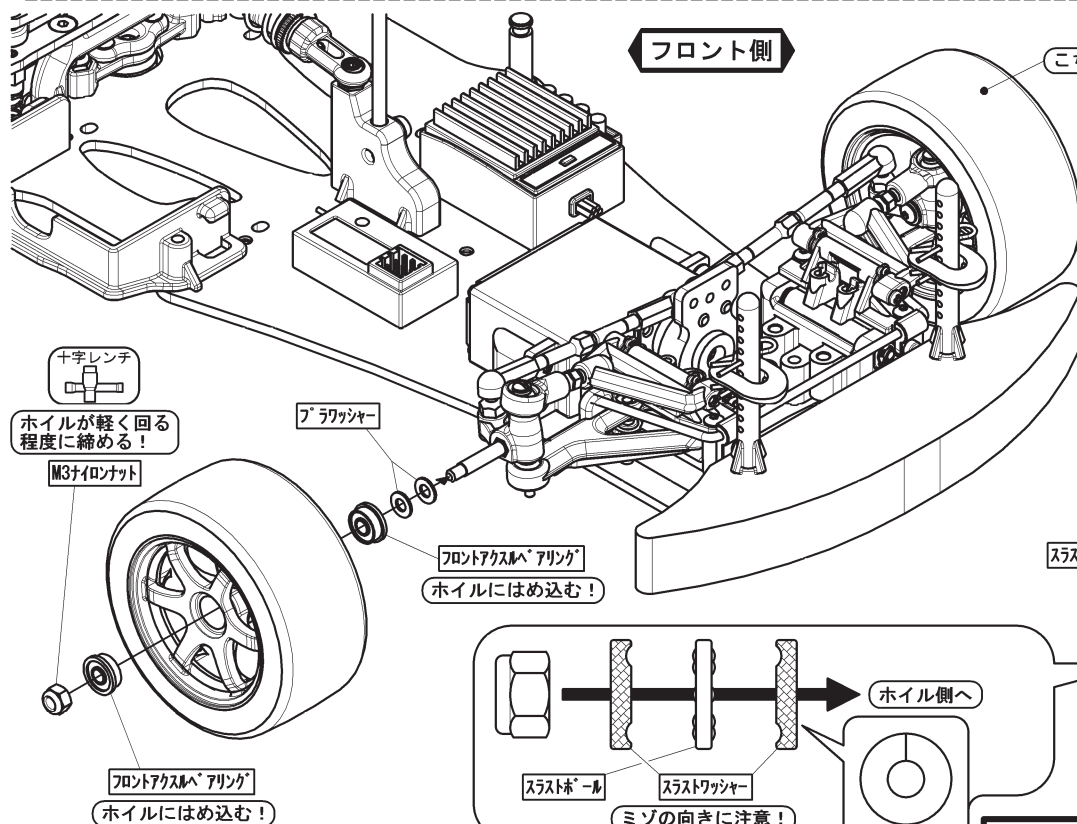
タイヤ内にインナースポンジを均一に押込み、タイヤのリブをホイールのミゾにはめ込みます。

注意！ ホイル&タイヤは前後の区別があります。ホイールは裏側に6角部分がない物はフロント用
ある物はリヤ用です。タイヤはM(ミディアム)がフロント用、S(ソフト)がリヤ用です。
接着する際は組合せに注意して下さい。(インナースポンジに区別はありません。)

タイヤのサイドをめくり、ホイールとの隙間に
瞬間接着剤を流し込み、両サイドを接着します。



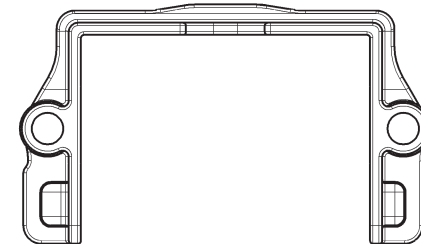
フロント用、リヤ用 各2本作ります。



ストレートバッテリー
別途ご用意下さい。

バッテリーホルダー(L)

【 袋-④ の残り 】



--×1 バッテリーホルダー(L)



--×2 バッテリーホルダーstopper



バッテリーホルダー
リングを引っかける！

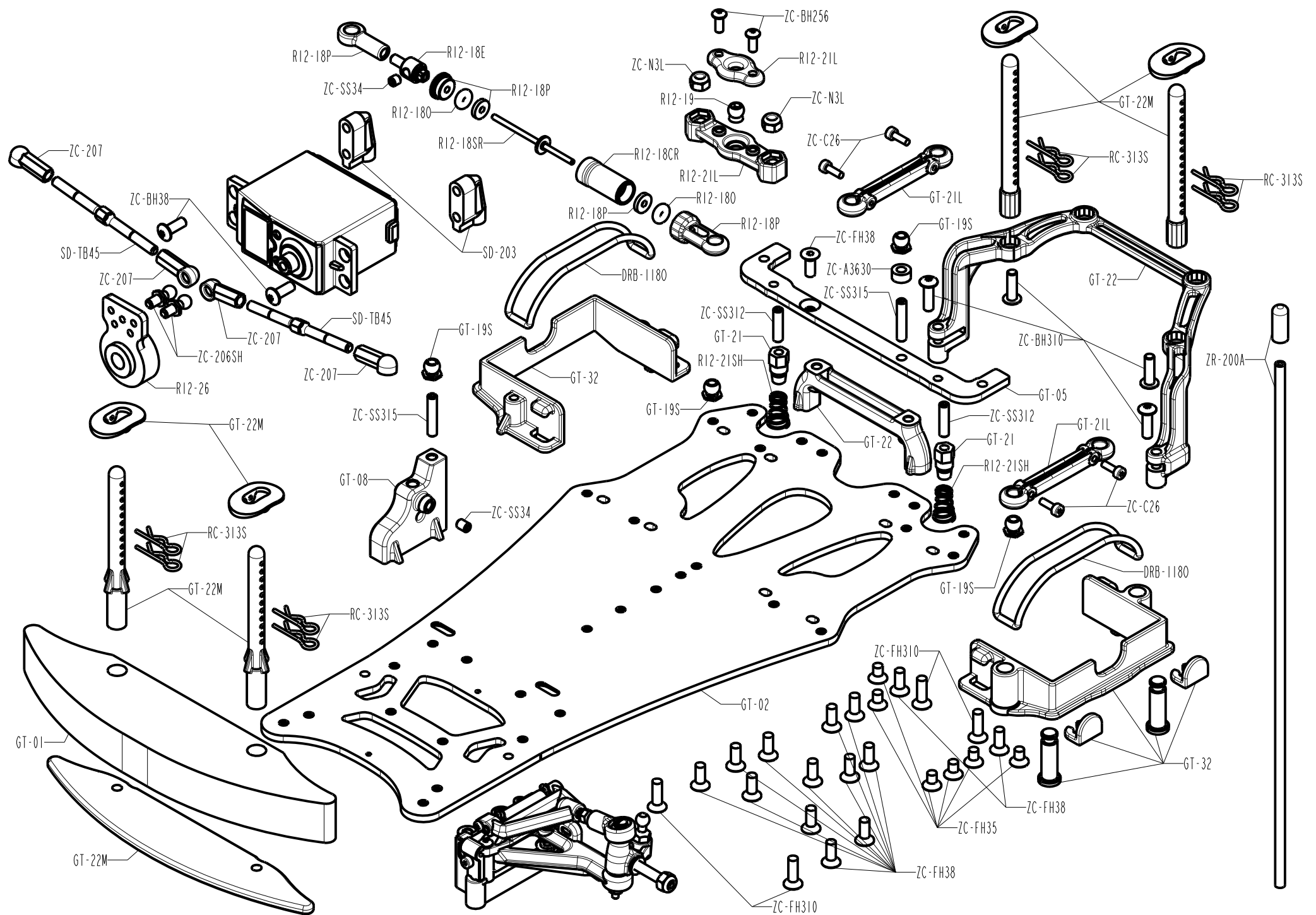
バッテリーホルダーリング

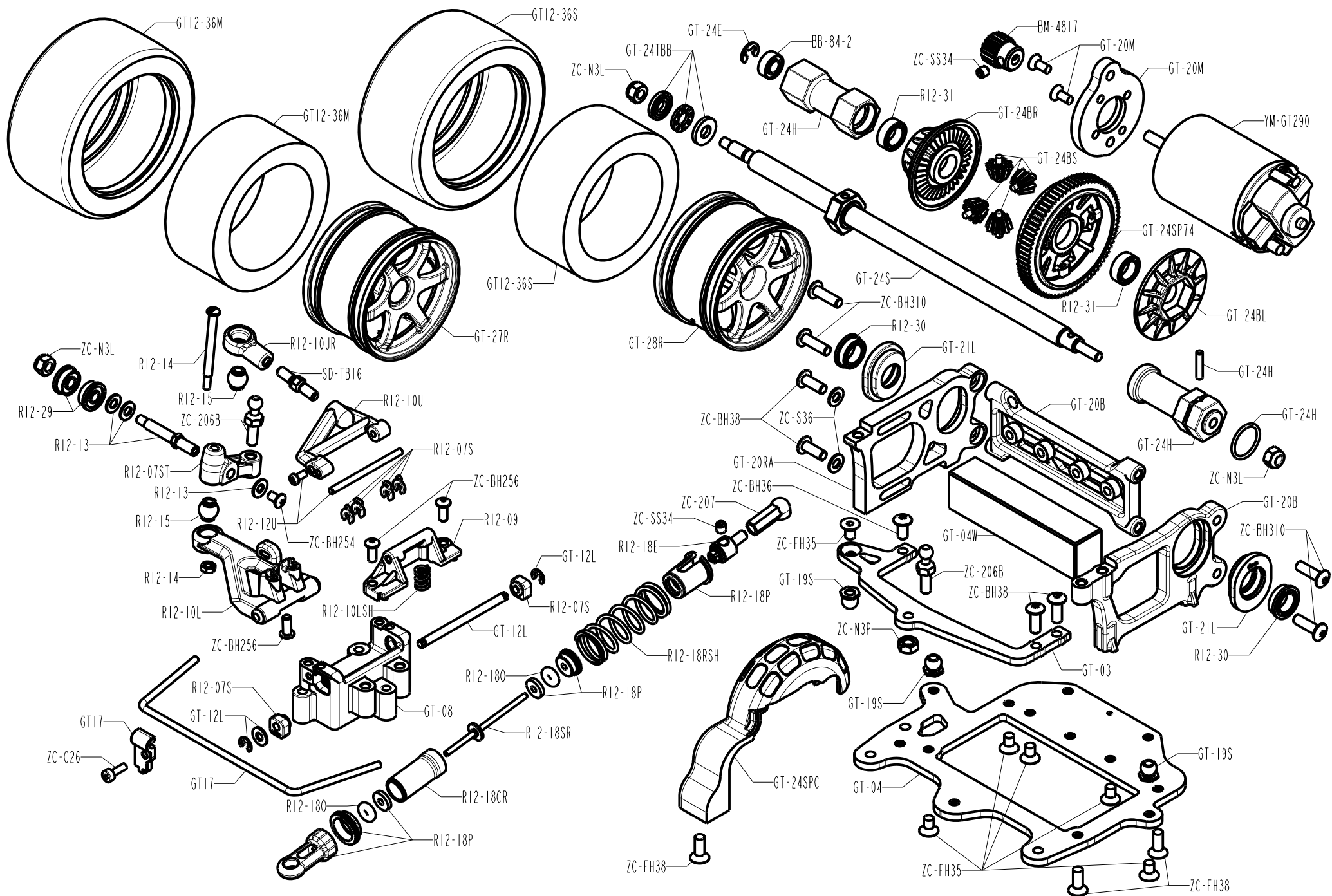
バッテリーホルダー
リングを引っかける！

SUPER SCALE GT500 の完成です。
ボディポストが長すぎる場合は、ボディを被せた状態で
調整(カット)して下さい。

注意！①マシンは予想以上のスピードが出ます。必ず広い安全な
場所を見つけてから走行をお楽しみ下さい！

②キットには、バッテリーは含まれておりませんので別途
ご用意下さい。





GETTING SHEET

DRIVER . . . DATE . . .

CIRCUIT

- ☒ 環境 ☐ インビア ☐ アウトビア
☒ 路面 ☐ アスファルト ☐ コンクリート ☐ カーペット
☒ クリッパ ☐ 高い ☐ 普通 ☐ 低い
☒ 路面状況 ☐ フラット ☐ バンピー

☒ 気温
☒ 湿度

℃ %

スキッド

Skid Angle

Front

☒
☐

Rear

☐
☒

サスブロック

Sus Block

☐ 0 mm
☒ 0.5 mm

Spacer

0 mm

Spacer

0 mm

フロント Spacer

0 mm

リア Spacer

0 mm

車高

Ride Height

5 mm

キャンバーク

Camber Angle

1.5 °

トー角

Toe Angle

OUT 1 °

メモ/Notes

ショック/ shock absorber

オイル/ Oil

NO

スプリング/ Spring

センター

Center

NO

アーム

Arm

ゴールド

ハート

スワグ/ Sway Bar

STD

※基本セット

リアショック

Rear Shock

Position

Spacer

0 mm

ダンパー長

Shock

66 mm

ライドハイト

Ride Height

5 mm

メモ/Notes

ショック/ shock absorber

ピッチ/ Pitch

450

オイル/ Oil

450

スプリング

Side Spring

ゴールド

ハート

ロール/ Roll

450

サイドスプリング

Side Spring

ゴールド

ハート

モーター

Motor

進角

Timing

スパーギア

Spur Gear

ピニオンギア

Pinion Gear

ボディ

Body

ボディマウント

Body Mount Position

前

後

バッテリー

Battery

スピードコントローラー

Electric Speed Controller

SCセッティング

SC Setting

サーボ

Servo

受信機

Receiver

送信機

Transmitter

ステアリング

Steering Expo

ブレーキ

Brake E.P.

スロットル

Throttle Expo

FRONT

タイヤ/ Tire

直径/ Diameter

ホイール/ Wheel

トラクション/ Tire Treatment

塗り

FL

FR

時間/ Time

REAR

タイヤ/ Tire

直径/ Diameter

ホイール/ Wheel

トラクション/ Tire Treatment

塗り

RL

RR

時間/ Time

■キャンバー角

基本は1度に調整します。キャンバーをつけていく（タイヤをハの字）とフロントの入りが良くなり、逆にキャンバーを起こすとアンダー傾向になります。

■ロアアーム スキッド角

ロアアームスキッド角をつける（ロアアームが前上がり）とパワーオフのときのフロントの沈み込みが良くなりキヤッチ走破性にも優れます。逆スキッドではフロントサスアームのアンチダイブとなりフロントシャーシ下面の底付きが軽減できます。

■ダウンストップ

フロントのダウンストップの調整を行なうのに、必ず左右を同じ高さに合わせてください。ダウンストップ量を増やしていく（ネジを締め込む）とフロントのロールが増え、逆に少なくなるとフロントロールが減ります。

■キヤスター角

フロントのキヤスター角をつける（寝かす）方向にすると直進安定性が増し、キヤスター角を減らすとステアリングの初期反応が良くなります。

■フロント サイドスプリング

フロントサイドスプリングは標準でハードが取り付けられています。オアションでのミチイアム、ソフトスプリングが用意されており、スプリングを柔らかくしていくと曲がるようになっていきます。

■リヤ サイドスプリング

リヤサイドスプリングの調整は基本、締め付け量0ミリからスタート、ロアブレースを左右にロールさせたときに均等に戻るように調整してください。

■リヤ スプリング調整

リヤスプリングの締め付け調整は、メインシャーシリヤロアブレースが地面と平行になるように調整して下さい。（ピッチリーを乗せた状態）リヤスプリングは基本的にゴールド（ハード）を使用しますがオアションでミチイアム、ソフトが用意されています。スプリングを軟らかくしていくとキヤッチ走破性が良くなり GT500が曲がるようになります。

■ロール ダンパー

ロールダンパーオイルを硬くしていくとリヤグリップが増す方向になります。

■ピッチング ダンパー

ピッチングダンパーオイルを硬くしていくとリヤグリップが増します。アスファルト路面では硬くしていく方向となり、カーペット路面ではやわらかくしていく方向となります。

1 / 12 GT500 をセッティングしていくうえで、最初にリヤグリップをしっかりと確保したところでフロントの曲がり
を調整していくと良い結果が得られます。

MEMO

[illegible]

AS A MANUFACTURER OF WORLD CHAMPIONSHIP WINNING CARS,
YOKOMO WILL CONTINUE TO PROVIDE THE BEST AVAILABLE TECHNOLOGY TO R/C ENTHUSIASTS ALL OVER THE WORLD.
ENJOY THIS PRODUCT KNOWING THAT YOU ARE DRIVING ONE OF THE BEST HANDLING R/C CARS EVER DESIGNED.



世界のブランド YOKOMO

ヨコモは競技用 R/C カー（ラジオコントロールカー）の専門メーカーです。その製品は、全日本選手権、全米選手権、ヨーロッパ選手権、そして R/C カーレースの最高峰である世界選手権レースでも優勝。世界の R/C カーマニアに愛用されています。